

第20回リバーフロント研究所研究発表会

企画グループ サブリーダー 後藤 勝洋

平成24年9月14日（金）、月島社会教育会館（東京都中央区）にて「第20回リバーフロント研究所研究発表会」を開催しました。

本報告会は、当研究所の河川や湖沼、海岸などの水辺に関し、健全な水循環系の再生、災害に強靱な都市の形成、川を活かしたまちづくり、自然環境の保全と利用、河川生態の保全や再生、景観形成などに関する調査研究の成果を発表し、広く活用していただくことを目的に、年1回「リバーフロント研究所報告」の刊行にあわせて開催しています。今年は20回目の開催となり、国土交通省や自治体関係者、学識者等、130名あまりの方々にご参加いただき、活発な意見交換がなされました。

発表会には、筑波大学の白川直樹准教授をお招きし、「川の「場」の力 ～水環境と社会・文明・風土」と題してご講話いただき、その後、昨年度当研究所で実施している研究成果から次の7題について発表を行いました。

○発表内容

1. 河川水辺の国勢調査結果からみた河川環境 — 1・2・3・4 巡目調査結果の総括検討 —

要旨：平成2年度に始まった河川水辺の国勢調査は、平成22年度で魚類と底生動物調査の4巡目調査が完了したところであり、1～4巡目の調査結果を総括し、一級水系の河川環境について検討、魚類からみた河川を類型化。

2. 木曾川水系における水循環構造に関する研究

要旨：木曾川水系における健全な水循環系の構築に向けた検討に資するため、表流水、地下水を一体に取り扱える水循環解析モデルを構築、解析結果から水循環構造の特徴や人為的な水利用による水循環への影響を分析。

3. 「かわまちづくり」支援制度に関する研究

要旨：「かわまちづくり」支援制度について、その支援方策のさらなる充実に資するため、支援制度登録自治体へのアンケート調査に基づく支援制度の改善を検討、かわまちづくりを評価するアウトカム指標を検討。

4. 多自然川づくりに対する一般市民による評価に関する検討

要旨：多自然川づくりに対する一般市民の評価について把握するため、一般市民や専門家へのアンケ

ート調査等を実施し、川づくりの評価に関わる構成要素（みお筋、河岸、護岸など）を比較分析。

5. 河道内樹木群の総合的評価に関する研究—多摩川を事例として—

要旨：多摩川に分布する樹木群について、治水、環境、維持管理それぞれの面から評価項目およびその評価手法を検討し、総合的に評価。

6. 柿田川自然再生計画の検討

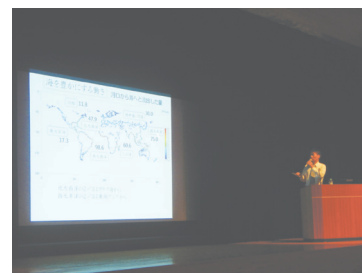
要旨：国の天然記念物に指定され、豊富な湧水を有する狩野川水系柿田川の自然環境の保全・再生を進める「柿田川自然再生計画」の検討、地域と連携したモニタリング計画の作成。

7. 地域と連携した鬼怒川中流部の外来植物対策について

要旨：鬼怒川中流部の外来植物対策について、広域的、かつ効果的・効率的な地域と連携した取り組みのための枠組み（組織体制・役割分担）と情報発信・情報共有方策について検討。

今回の発表内容を含めた平成23年度の調査研究の成果「リバーフロント研究所報告 第23号」は、当研究所ホームページ「リバーフロント研究所報告」(<http://www.rfc.or.jp/rp/index.asp>)にてダウンロードが可能ですので、是非ご活用下さい。

皆様からいただいた様々なご意見を踏まえて、今後も河川に係る諸問題への調査研究等を通じて社会への貢献に取り組んでいきたいと考えております。



白川准教授のご講話



会場参加者との意見交換